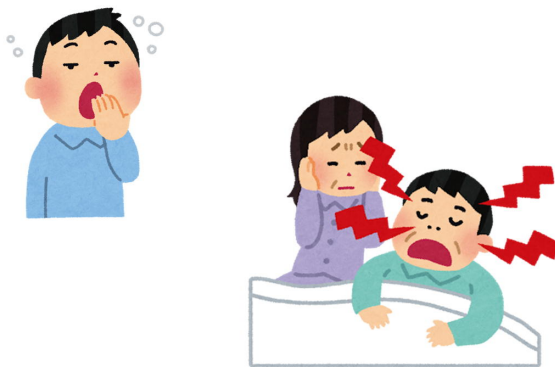


睡眠時無呼吸症候群外来、はじめました

「いびきがうるさい」「眠っているときに息が止まっている」そう言われたことはありませんか？それは睡眠時無呼吸症候群があるのかもしれません。

こんな症状ありませんか？

- ・朝にすっきり起きられない
- ・起床時に頭痛がする
- ・大きないびきをかく
- ・昼間に眠い
- ・集中力や記憶力が低下した
- ・夜中によく目が覚める
- ・寝ている間のトイレが近くなる
- ・血圧が上がる



重症の睡眠時無呼吸症候群を治療せずに放置すると、心臓病や脳卒中など様々な病気の危険度が上がると言われています。この危険度は、きちんと治療を行うことによって下げることができます。

肥満のある中高年男性で最もよく見られる病気ですが、性別や年齢、体型にかかわらず発症する可能性があります。

睡眠時無呼吸症候群外来のながれ

当院の睡眠時無呼吸症候群外来では、日本睡眠学会認定の睡眠専門医が診療を行っています。

初診時には、これまでの経過や現在の症状、他に治療中のご病気などについてお話を伺います。その後、ご自宅で簡単な検査機器を睡眠時につけていただきます。その結果をもとにして、直ちに治療を開始するか、それとも更に詳しい検査を一泊入院して行うかなどを検討します。

治療法としては、寝る時にCPAP（シーパップ）と呼ばれる機械を装着する方法や歯科で治療用のマウスピースを作る方法が一般的です。

患者様にとって納得のいく治療を提供できるよう心がけていますので、気になることは遠慮なく外来でお尋ねください。

